

編集後記

編集長 小 西 敦

現在、新型コロナウイルス感染症対策で、医療関係者をはじめとして、たくさんの方々が、昼夜を問わず、ご尽力をいただいていることに、感謝いたします。

本研究科においても、池田研究科長をはじめとして教職員が様々な工夫を凝らして、教育・研究環境を整え、院生の皆さんの学びを支援しています。

新しい感染症は、人類にとって脅威ですが、イノベーションのきっかけともなります。J. A. Schumpeter の *Capitalism, Socialism and Democracy* は、今から約80年前に、創造的破壊 (Creative destruction) という概念を示しました。この概念を借用した言説には、「破壊」を強調するものが多いかもしれません。しかし、原著は、「不断に古きものを破壊し新しきものを創造して、たえず内部から経済構造を革命化する産業上の突然変異」(J・A・シュムペーター『資本主義・社会主義・民主主義』上巻、中山伊知郎・東畑精一訳(東洋経済新報社、1962年)150頁)と述べていて、この突然変異の過程＝創造的破壊の過程こそが「まさに資本主義の本質」としています(根井雅弘『シュンペーター』(講談社学術文庫・Kindle版)No.2063参照)。

本研究科の名称は、「経営情報イノベーション研究科」です。現在の社会情勢等を踏まえて執筆された本号掲載の各論文も、各分野で、「新しきものの創造」に寄与してくれるものと思います。

投稿者、巻頭言をご執筆いただいた池田研究科長、主査・副査・査読の先生方、本誌の発行にご尽力下さった皆さま、特に、困難な環境下において無事に発刊に至る諸作業をして下さった増子さんにお礼を申し上げますとともに、今後も様々な観点からの論文等のご寄稿を賜りたいと思います。